

ばばだめ 広島サンダース

久原 大輝

S Vリーグ男子のレギュレーションも終盤に入り、チャンピオンシップ（CS）進出を巡る争いはよいよ佳境を迎えている。開幕前に掲げた目標は「ベスト4」。その舞台に立つためにも、ここか



守護神としてコートを守り続けるリベロの高木啓士郎選手（8日）

CSへここからが正念場

らは落とせない戦いとなる。

週末の20、21日、サンダースは北海道函館市でヴォレアス北海道（V北海道）との2連戦に臨む。約1カ月前、旭川市で行われた同カードでは相手の勢いあるサーブと粘り強いディフェンスに苦しみ、1セットも奪えないまま悔しい敗戦を喫した。攻守ともに主導権を握られ、終始追いかける展開となった。

しかし、チームは敗戦から下を向くことなく、全員で課題と向き合いながら戦い続けてきた。苦しい試合を重ねながらも踏ん張り、CS進出圏内を守っている。今季のV北海道との対戦成績は、昨年11月は2連勝しているため、2勝2敗。まさに互角の戦いだ。

だからこそ、函館市での2試合は重要だ。悔しさを胸に刻み、再び北海道でリベンジマッチに挑む。旭川で味わった屈辱を、函館での歓喜に変えるために。チーム全員が並々ならぬ覚悟を胸に、北の大地へと向かう。サンダースにとって、ここからが本場の勝負だ。

（広島Tマネジャー）